

研究機関：広島大学

研究課題名	内視鏡的乳頭切除術の安全性と標準化にむけて
研究責任者名	広島大学医歯薬保健学研究科消化器・代謝内科学 教授 茶山 一彰
研究期間	2018年4月26日(倫理委員会承認後)～2018年7月31日
対象者	2006年4月から2017年12月の間に、広島大学病院消化器・代謝内診療科で十二指腸腫瘍に対して内視鏡的乳頭切除術治療を受けられた患者さん。
意義・目的	<p>十二指腸乳頭部腫瘍の治療は、従来外科的切除が行われてきましたが、近年は腺腫病変に対して低侵襲治療である内視鏡的乳頭切除術の報告が増加してきています。</p> <p>広島大学病院 消化器・代謝内科では、十二指腸乳頭部腫瘍に対して内視鏡観察、生検、超音波内視鏡検査 (endoscopic ultrasonography ; EUS)、内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査 (endoscopic retrograde cholangiopancreatography ; ERCP) による病理診断および進展度診断を行い、大十二指腸乳頭領域 Ad 領域に局限した腺腫と診断した症例に対しては内視鏡的乳頭切除術を施行してきました。</p> <p>そこで今回、十二指腸乳頭腫瘍に対しての内視鏡的乳頭切除術の安全性・有用性を明らかにするため、この研究を計画しました。</p>
方法	<p>本研究は、診療録 (カルテ) 情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は性別、年齢、画像検査 (上部消化管内視鏡画像, CT, MRI, EUS, ERCP)、術前・術後病理結果報告書、術後偶発症、追加での内科および外科的治療の有無等です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p>
共同研究機関	ありません
個人情報保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5192 (内線 2387) 広島大学病院 消化器・代謝内科 診療講師 壺井 智史</p>